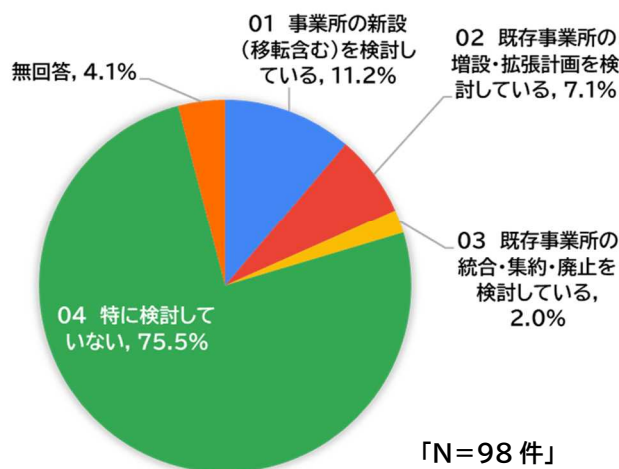


4-2 調査結果

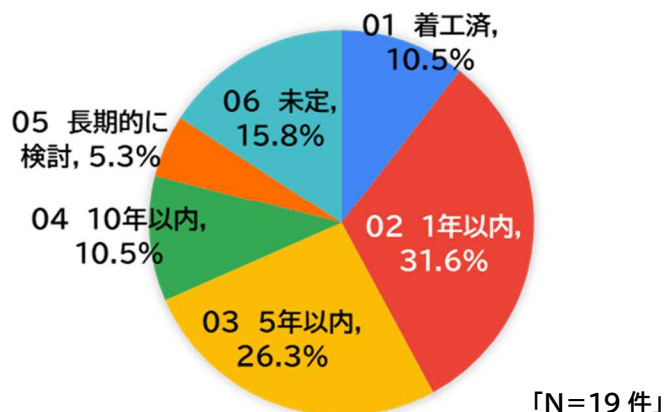
問1 貴社では生産拠点・研究開発拠点又は物流施設などの拠点施設について、新設・移転・集約等を検討されていますか。【1つのみ選択】

「特に検討していない」が75.5%で最も多く、次いで「事業所の新設（移転を含む）を検討している」が11.2%、「既存の事業所の増設・拡張計画を検討している」7.1%となっている。



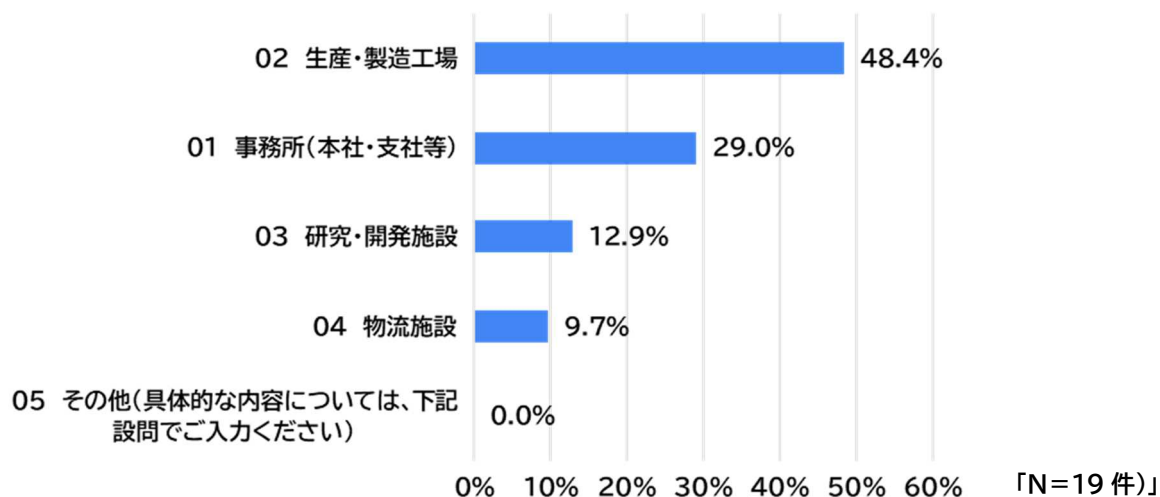
問2 新設・増設・拡張の予定時期はいつでしょうか。【1つのみ選択】

「1年以内」が31.6%、次いで「5年以内」が26.3%、「10年以内」10.5%となっている。5年以内の予定が約6割を占めている。



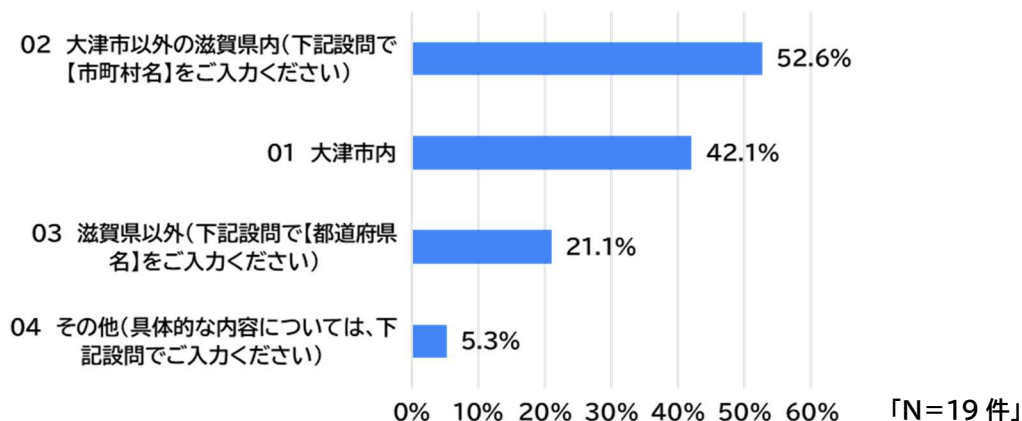
問3 新設・増設・拡張を検討されている施設は、どのようなものでしょうか。【複数選択可】

「生産・製造工場」が48.4%で最も多く、次いで「事務所（本社・支社等）」29.0%、「研究・開発施設」が12.9%となっている。



問 4 新設・増設・拡張をお考えになっている候補地を次の中からお選びください。【複数選択可】

「大津市以外の滋賀県内」が 52.6%で最も多く、次いで「大津市内」42.1%、「滋賀県以外」21.1%となっている。



問 4 で「02 大津市以外の滋賀県内」を選択した事業所の候補地

甲賀市(現工場の敷地内で拡張) (1件)	竜王町 (1件)
栗東市 (2件)	米原市 (1件)
草津市・湖南市・甲賀市・栗東市・守山市 (1件)	湖南市 (1件)
草津市 栗東市 守山市 (1件)	高島市 (1件)
草津市 (1件)	

問 4 で「03 滋賀県以外」を選択した事業所の候補地

岐阜県、愛知県、福井県 (1件)
京都府(1件)
三重県 (1件)

問 4 で「04 その他」を選択した事業所の候補地

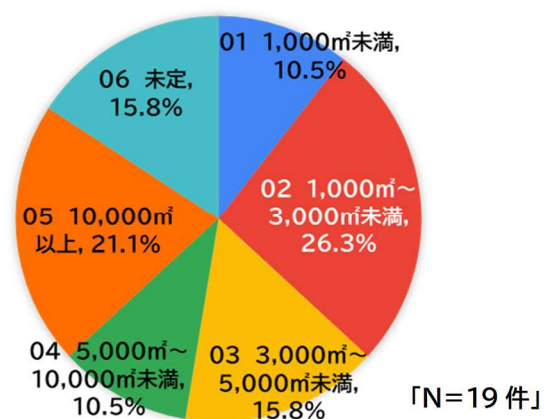
京都市、長岡京市、高槻市(1件)

問 5 新設・増設・拡張の予定規模について、次の中からお選びください。【1つのみ選択】

「1,000㎡～3,000㎡」が 26.3%で最も多く、次いで「10,000㎡以上」が 21.1%、「3,000～5,000㎡未満」と「未定」が 15.8%となっている。

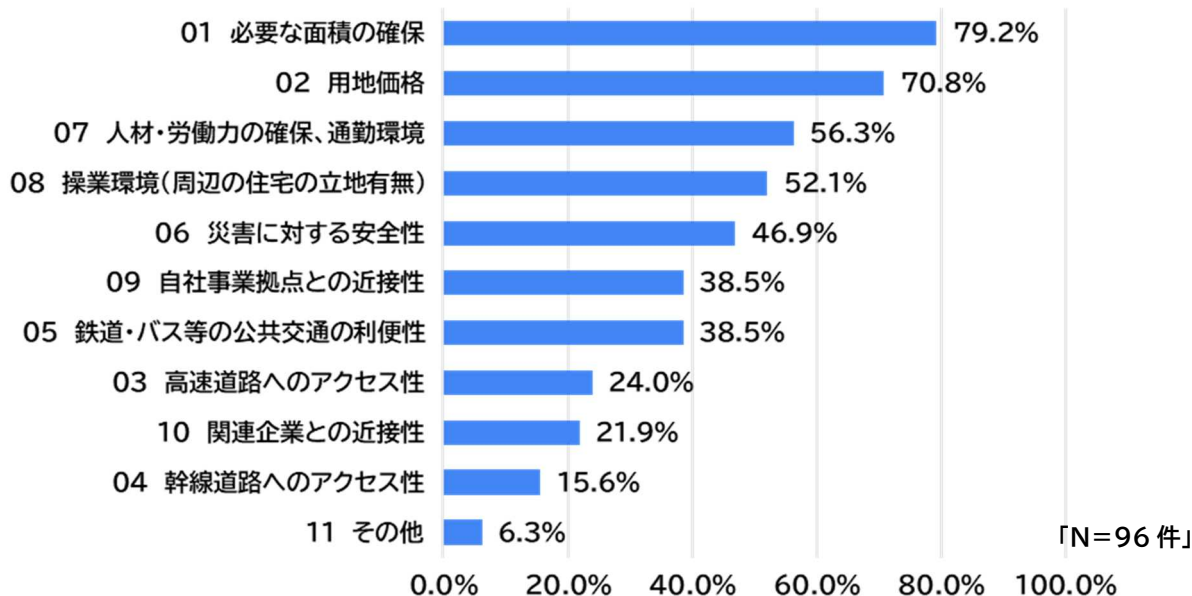
問 5 で「05 10,000㎡以上」を選択した事業所の予定規模

25,000㎡ (1件)
20,000㎡ (2件)
18,000㎡ (1件)



問 6 事業所等の候補地選定で重視する条件について、次の中からお選びください。【複数選択可】

「必要な面積の確保」が 79.2%で最も多く、次いで「用地価格」70.8%、「人材・労働力の確保、通勤環境」56.3%となっている。



問 6 で「03 高速道路へのアクセス性」を選択した事業所の高速道路までの距離と時間

5Km 5分 (1件)	5km (1件)
10分 2km (1件)	5km 20分 (2件)
10分程度 (1件)	10km 20分 (1件)
15分 (2件)	5km 30分以内 (1件)
20分 (1件)	20km 30分 (1件)
1km 20分 (1件)	30分 (1件)
3km 20分 (2件)	

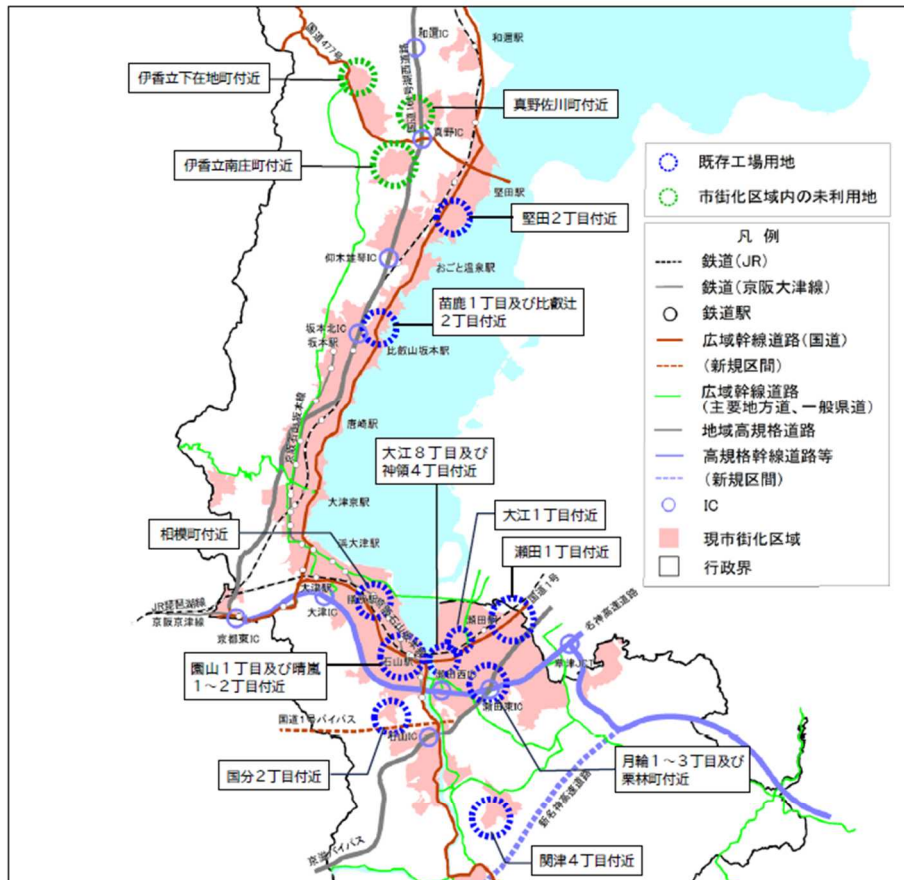
問 6 で「04 幹線道路へのアクセス性」を選択した事業所の幹線道路までの距離と時間

5分 (2件)	5km 10分 (1件)
0.2km 5分以内(1件)	15分 (1件)
1km 5分 (1件)	1km 20分 (2件)
0.5km (1件)	20km 30分 (1件)
10分 (2件)	

問 6 で「11 その他」を選択した事業所の意見

わからない 未定	インフラ整備状況 (通信網、上下水道)、BCM、BCP 観点
取水槽が確保できるか	地盤、排水、排液

問 7-1 大津市には、下図に示すような地域に既存の工場用地(工業系用途地域)があります(青○部分)。



■既存の工場用地(工業系用途地域、上図の青丸で表示した場所)の特徴

- 主に、鉄道駅周辺等の市街地内に工業系用途地域が点在しています。
- 現在の主な土地利用は、工場や商業施設、住宅等となっています。
- 最寄り IC までは、おおむね直線距離で約 1~3km の範囲にあります。
- 一部の地域には、洪水ハザードエリアが含まれています。

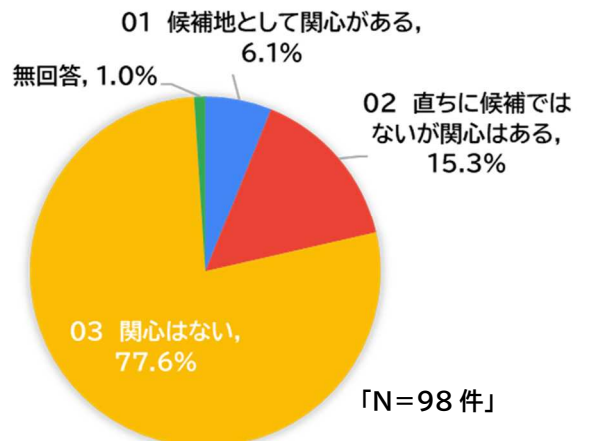
■市街化区域内の未利用地(上図の緑丸で表示した場所)の特徴

- 市の北部にあり、現在の土地利用は主に山林となっています。
- 最寄り IC(湖西道路真野 IC)までは直線距離で約 1~3km の距離にあります。
- 土砂災害、洪水等の災害ハザードエリアは含まれていません。

既存の工業用地(工業系用途地域)について、貴社の関心度合いをお聞きます。貴社の生産拠点・研究開発拠点又は物流施設を、これらの地域に設けることについて関心がありますか。【1つのみ選択】

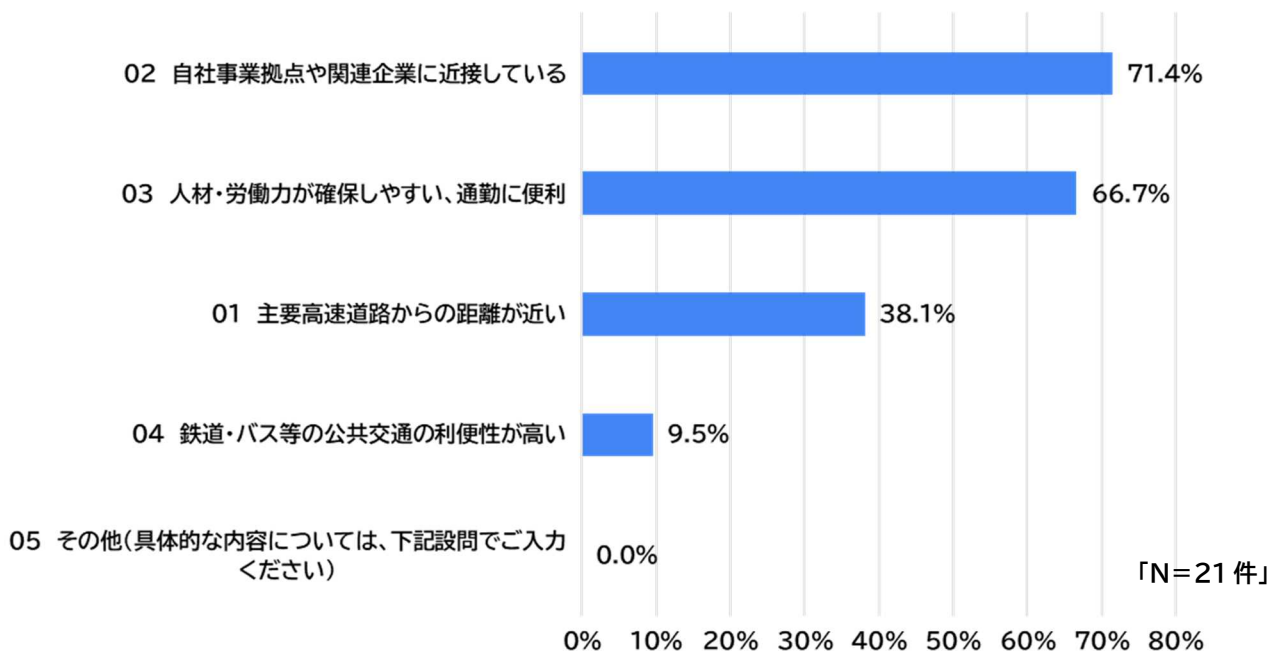
※もし現時点で貴社に工場新設等の計画が無い場合は、今後新設等の必要性が発生した際を想定してご回答ください。

「関心はない」が 77.6% 最も多い。「直ちに候補ではないが関心はある」が 15.3%、「候補地として関心はある」が 6.1% で、関心があるは全体の約 2 割となっている。



問 7-2. 問 7-1 で「候補地として関心がある」、「直ちに候補ではないが関心はある」と回答された方について、その理由を教えてください。【複数選択可】

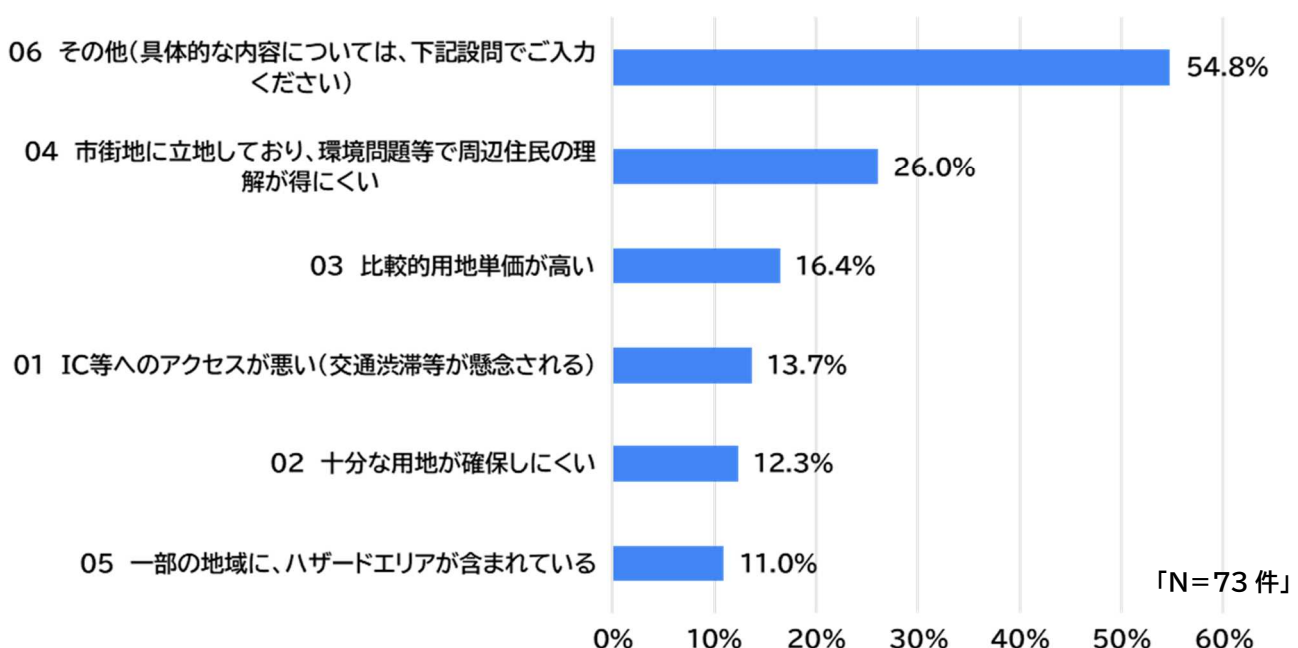
「自社事業拠点や関連企業に近接している」が 71.4%で最も多く、次いで「人材・労働力が確保しやすい、通勤に便利」が 66.7%、「主要高速道路からの距離が近い」が 38.1%となっている。



問 7-3. 問 7-1 で「関心はない」と回答された方について、その理由を教えてください。【複数選択可】

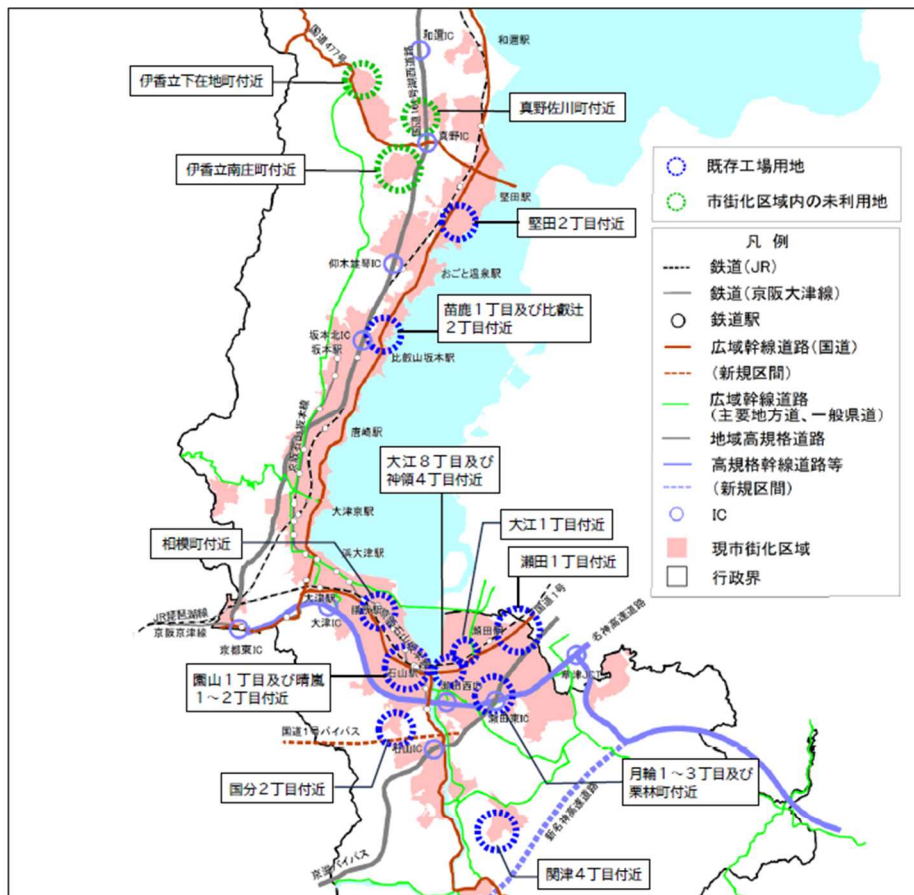
「その他」が 54.8%で最も多く、次いで「市街地に立地しており、環境問題等で周辺住民の理解が得にくい」が 26.0%、「比較的用地単価が高い」が 16.4%になっている。

「その他」は必要がない等が特に多く、そのほか事業拠点等から遠い、既に用地が確保されている等が多い。



「06 その他」の意見	
拠点から遠い	計画がないため
現在地の方が利便性が良い	購入を検討していないため
弊社研究所と距離がある為	活動中でない為
自社製造拠点との近接性が低いため	わからない 未定
親会社から業務を委託されているので親会社と近隣である必要がある	検討中ではないため
取引先が中部、近畿、北陸地域と広域であり、不便な為。	現在、移転する必要がない
自社事業拠点から遠い為	今後、移転や新設などの予定が全くないから
近隣に同様の拠点があるため。	滋賀県では探していない
既に用地確保済	拠点の移設・新設の予定なし
滋賀県内に工場あり	計画がない為。
その地域に既に自社工場があるため	工場用地は不要 事業に無関係
現在地で確保できるので	新設の予定がないため
弊社グループ会社内で空いている用地を利用するため	必要がない
工場新設から2年半の為	まだ検討がされていない為
産業用地を必要とする経済環境にない	移転を考えておりません
事業場所が工業用地等である必要がないため	考えがいまのところない
特に検討していないため	

問 8-1 大津市には、下図に示すように、市街化区域内に未利用地があります(緑○部分)。



■既存の工場用地(工業系用途地域、上図の青丸で表示した場所)の特徴

- 主に、鉄道駅周辺等の市街地内に工業系用途地域が点在しています。
- 現在の主な土地利用は、工場や商業施設、住宅等となっています。
- 最寄り IC までは、おおむね直線距離で約 1~3km の範囲にあります。
- 一部の地域には、洪水ハザードエリアが含まれています。

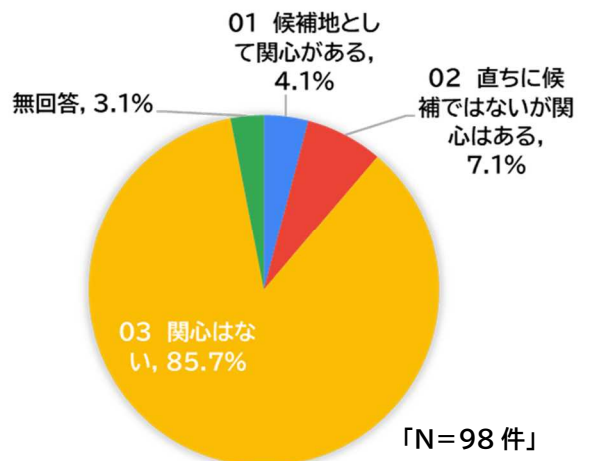
■市街化区域内の未利用地(上図の緑丸で表示した場所)の特徴

- 市の北部にあり、現在の土地利用は主に山林となっています。
- 最寄り IC(湖西道路真野 IC)までは直線距離で約 1~3km の距離にあります。
- 土砂災害、洪水等の災害ハザードエリアは含まれていません。

市街化区域内の未利用地について、今後、貴社の生産拠点・研究開発拠点又は物流施設を、これらの地域に設けることについて関心がありますか。【1つのみ選択】

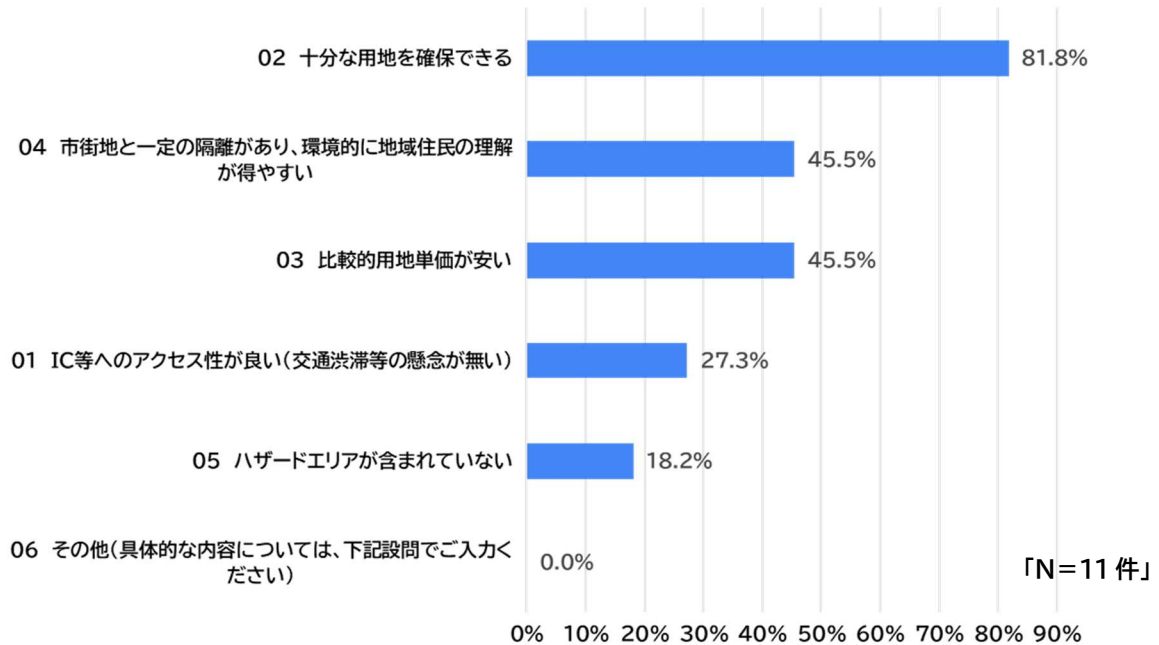
※もし現時点で貴社に工場新設等の計画が無い場合は、今後新設等の必要性が発生した際を想定してご回答ください。

「関心はない」が 85.7%で最も多い。
 「候補地として関心がある」が 4.1%、「直ちに候補ではないが関心はある」が 7.1%、関心があるは全体の約 1 割となっている。



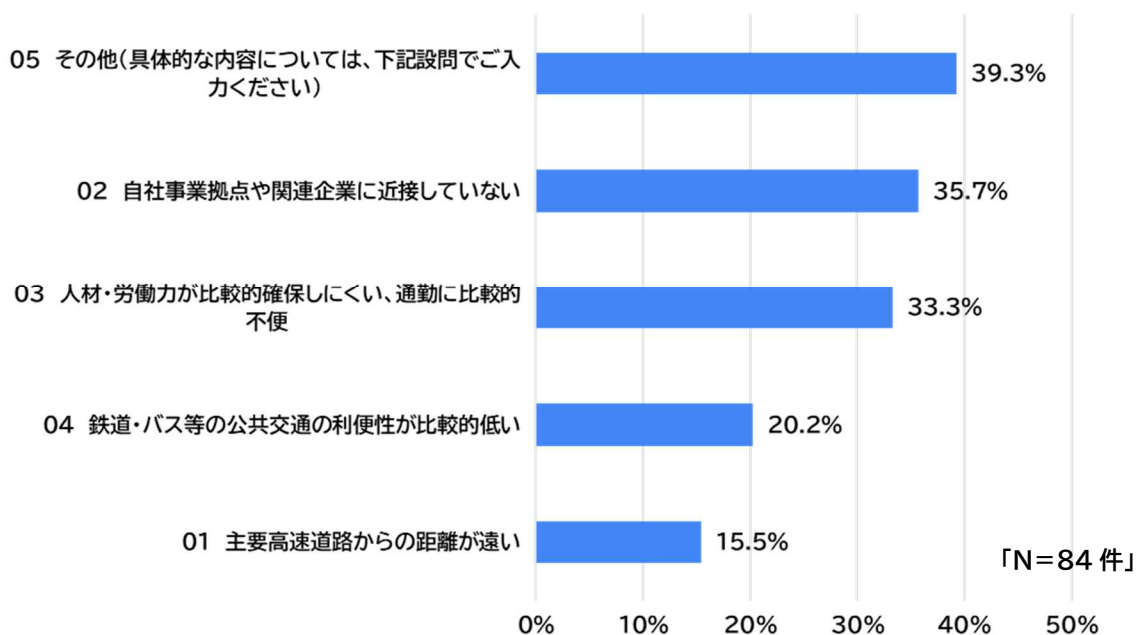
問 8-2. 問 8-1 で「候補地として関心がある」、「直ちに候補ではないが関心はある」と回答された方について、その理由を教えてください。【複数選択可】

「十分な用地を確保できる」が 81.8%、「比較的用地単価が安い」、「市街地と一定の隔離があり、環境的に地域住民の理解が得やすい」がともに 45.5%になっている。



問 8-3. 問 8-1 で「関心はない」と回答された方について、その理由を教えてください。【複数選択可】

「その他」が 39.3%で最も多く、次いで「自社事業拠点や関連企業に近接していない」が 35.7%、「人材・労働力が比較的確保しにくい、通勤に比較的不便」が 33.3%となっている。「その他」は必要がない等が特に多く、そのほか事業拠点等から遠い、既に用地が確保されている等が多い。



05 その他の意見	
自社製造拠点との近接性が低いため	計画がないため
現在地の方が、業務上利便性が良い	わからない 未定
既に用地確保済	検討中ではないため
既存の工場用地に自社工場があるため	現在地を動く発想はない。
現在地で土地の確保が出来ているため	購入の検討などの予定が全くないから
滋賀にはすでに工場を有しており、追加では考えていない。	必要がない
京都に研究所あり	まだ検討がされていない為
弊社グループ会社内の空き用地を利用することを考えているため	滋賀県では探していない
国内での増設は予定が無い為	新設の予定がないため
購入を検討していないため	移転を考えておりません
活動地域ではないため	特に検討していないため
客先との納期調整が困難	現在、移転する必要がない
事業に関係ない	今のところ現状で困っていないため

問9. その他、本件についてご意見・ご要望などございましたら、自由にご記入・ご入力ください。

自由意見
弊社工場は、操業 60 数年がたち、10 年計画で全ての工場建屋を改修し終わりました。 その間、近隣に弊社研究所も進出しましたので、従業員も近隣で生活しております。 今は工場と研究所が近い為、多くのメリットがあります。
新規産業用地ではなく、居抜きで使用できる土地があれば紹介いただきたい。
行政主導での開発情報があればご教示お願いします。
長年移転先を探しているが見つからない。
第一には、調整区域の規制をはずし、地域の活性化を希望。